

難聴 補聴器 試聴のためのチェックリスト

解説しながらチェック

- きこえに困る場面があるのは **ご本人**である

補聴器購入は、保険診療からは外れますが、医療費控除が受けられます

- 補聴器を試したいのは **ご本人**である（試聴期間 2 ヶ月）

調整の進み具合によっては試聴を延長します

満足度を担当医が確認した上で、販売を許可する流れとなります

- ご本人**または**ご家族**が、補聴器の清掃や電池交換ができる

試聴中の破損・紛失は弁償となります

- 補聴器を購入できる環境にある（一般的には片耳 10~25 万円）

基本的に補聴器はできるだけ新しい機種で最も安価なグレードで試聴を開始します

「聴き取りや耳鳴の解決」は価格やメーカーよりも調整が大切です

「突発音や騒音に対する快適性」は上位機種が優れていることがあり、調整が進んだ段階で比較試聴が可能です

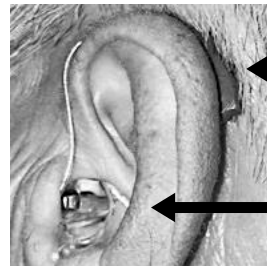
基本的に試聴中は両耳で聞くことをめざしますが、購入にあたってはご本人しだいです

補聴器の耐用年数はおよそ 5 年と考えてください

- 試聴中は定期的に通うことができる（2~3 ヶ月は 1~2 週に 1 度）

補聴器のつけ始めは誰もがやかましく感じますので、段階的に調整を進めます（別紙参照）

- 原則、試聴は耳かけ型です



耳かけ型本体



聴力型により 耳の型を採取したイヤモールドで試聴開始

片耳 約 1 万円、両耳では二つ分

イヤモールドを試聴段階で作製するのは、この段階で最適な調整を目指すからです

イヤモールド作製後の返金はありません

耳あな型 試聴ができませんので購入希望の場合は、早めにお申し出ください

上記について 理解し承諾しました

年 月 日 氏名 _____